

【作成途中】 【参考】日本版 FTEM (ホッケー)

		F1	F2	F3	T1	T2	T3	T4	E1	E2	E3	M
		基本的動作の習得と習熟	動作の獲得と洗練	スポーツ/競技大会の専念	スポーツタレントの顕在化/クラス分け	スポーツタレントの検証	練習と到達	躍進と称賛	シニア代表	実績	成功(メダリスト)	持続的な成功
イメージPHOTO												
具体的なアスリート		外で活発に遊ぶのが好きで用具(スティック)などを使う遊びを楽しめる児童・生徒	ホッケーに出会い選択し、(取るツム)クラブ等に所属する児童・生徒	年代別日本代表(U12)候補アスリート	発掘プログラム(エリートアカデミー-J-STARプロジェクト)や年代別地区代表(U15)に選ばれた(候補)アスリート	11人制ホッケーに本格的に取り組み、年代別日本代表(U16・U15)に選ばれた(候補)アスリート	年代別日本代表(U18・U17)に選ばれた(候補選手として)国際大会を経験するアスリート	年代別日本代表(U21・U19)に選ばれた国際大会を経験するアスリート	日本代表(サムライ・さくら)に選ばれた国内トップアスリート	日本代表(サムライ・さくら)の中心アスリート 男子: 田中健太、福田健太郎、永吉 拳、山崎晃嗣ほか 女子: 永井友理、永井五月、島山まひ、及川菜ほか	日本代表(サムライ・さくら)から世界に羽ばたくトップアスリート 田中健太、千葉香織	世界のトップアスリート FIH Player of the year 男子: ジェイムズ・ドワイヤー(オーストラリア)、ヘンドリックス(ベルギー) 女子: アイマール(アルゼンチン)、イビヤンセン(オランダ)
→1の経験・能力を 細かくあげる 言葉を再定義 ↓ 下段「どんな経験にするか」に 合わせていく		体を動かすことが大好き! ・機敏に動く(鬼ごっこ系)に適性しなやかな身のこなしができる ・道具を使う(スティック他)に適性 △▽ (ことが出来る) 遊びの中でホッケーを体験する ・スティックスポーツの楽しさを体験 ・動きながらスティックを扱う経験(ホッケーの特性を味わう) ③ケガのリスクを低くする工夫(簡易ルール、安全な用具*)	・スポ少・クラブに入る(ホッケーを選択し、ホッケーの専門練習に取り組む) ・チームスポーツであるホッケーを経験し、仲間と練習し試合で勝利する喜びを経験する ・練習や試合で、工夫をしてホッケー技能向上に取り組む	・スポーツ少年団やクラブに所属し、ホッケーをに取り組む ・全国スポ少ホッケー交流大会や選抜メンバーによるドリームキャンプ、オールスター戦を経験する	・部活動やクラブチームに所属しホッケーを全日本中学生ホッケー選手権等で、同世代でトップレベルのホッケーを経験する ・上記に加え、J-SATRなどの競技トランスファーで身体能力(スピードと持久力、敏捷性)の高いタレントを引き込む(を発掘し、より高みを目指す)	・上のカテゴリとの練習や試合を通して、ホッケーの理解や技能、ホッケーに必要なフィジカルを高める ・ペーンツスキルを習熟(ストローク、トラップ(ボールコントロール、レシーフ)の重要性)に気づく	シニア日本代表を目指す覚悟での取組 ・集中できる環境を整える(ホッケーを高いレベルで継続できる環境/観元を離れることも覚悟) ・自立を目指す(判断力を高める) ・身体能力を高める(走力・持久力) ・ペーンツスキル(特にストローク)	ホッケーは勿論、日常生活においても下記能力を高める努力を怠らない ・判断力 ・予測力 ・人間力 ・理解力 ・実行力 ・生活環境の整備 ・目標達成のためのセルフマネジメント力	国際大会に参加する/HJLに参加しているチームに所属するプレーヤー ・強靱な精神力 ・高いペーンツスキル ・高い運動能力 ・高いプレッシャーの中でも通用するプレー ▽△ ・状況に応じた最適なスキル ・高い運動能力*2	世界での経験値をプレーに活かすハイレベルな国際競技力向上の推進力として ・必要とされるすべての能力(ストライカー、ディフェンダー、GK、フリッカー、ドリブラーなど)	世界での経験値をプレーに活かし、国内に伝達する推進者となる(日本ホッケーの国際競技力向上の推進力として) ・必要とされるすべての能力(ストライカー、ディフェンダー、GK、フリッカー、ドリブラーなど)	
1	どんな経験を するの か ↓ ・上段: 個人 ・下段: チーム	《多様な遊び》 外遊びの経験を通して、多様な動きを行い、敏捷性やしなやかな身のこなしを身につける。 (スティックスポーツの特性体験) 棒状の用具(スティック)を使って、簡易なホッケーを楽しむ。	《ホッケーを選択し本格開始》 ホッケークラブ/スポーツ少年団に所属し、6人制ホッケーを楽しむ。	《年代別代表》 ・年代別地区代表(U12)に選出されドリームキャンプに参加 ・年代別日本代表(U12)に選出されオールスター戦に参加	《発掘プログラム》 ・発掘プログラム(エリートアカデミー、J-STAR)に選出される。 《年代別代表》 ・年代別地区代表(U15)に選出される。	《年代別日本代表》 11人制ホッケーによる年代別日本代表(U15・U16)に選出される。 国際試合を経験する。	《年代別日本代表》 年代別日本代表(U18・U17)に選出される。 年代別国際大会(ユースオリンピック等)に参加する。	《年代別日本代表》 年代別日本代表(U21・U19)に選出される。 国際大会(ジュニアWC・同予選等)に参加する。	《日本代表入り》 サムライジャパン、さくらジャパンに選出され、国際大会や海外遠征に日本代表として参加する。	《日本代表定着》 サムライ・さくらに定着し、アジア大会、オリンピック、ワールドカップに出場して中心選手として活躍する。	《世界を舞台に》 サムライ・さくららのスタープレーヤーとして活躍し、海外のクラブチームに所属する。	《世界で活躍》 世界の舞台(ヨーロッパトップリーグ)で、トッププレーヤーとして活躍し続ける。
			試合を通して、ポジションによる役割や初歩的な戦術を知る。	基本的戦術(個人・グループ・チーム)を理解し、チームを意識したプレーができる。	JHAにより公開されるエリートアカデミー等のプログラムを共有し、個々の能力を高める。	11人制ホッケーの基本戦術を理解し個の特性を活かす。 U15地区代表選考会により共に高め合う仲間に出会う。	チーム戦術に個人戦術(個の特性)を融合する。 U18地区代表選考会に参加し、アスリートパスウェイを理解し、さらなる上を目指す。	世界のトップレベルと戦い、Jrワールドカップでメダルを獲得する。	アジアでの戦いを勝ち抜き、世界ランキングを上げて、ワールドカップに出場する。(世界ランキング12以内)	アジア大会で優勝し、オリンピックに出場する。(世界ランキング8位以内)	オリンピック、ワールドカップに出場しメダルを獲得する。	オリンピック、ワールドカップで継続的にメダルを取り続ける。
2	どんなアスリートを目指すか	体を動かす遊びを通して、ホッケーに必要な走力や身のこなし、道具を使う調整力を身につける。	ホッケーを選択し、ホッケーの楽しさを体感する。(他競技・趣味等との併用可) チームで協力し勝つ喜びを知る。	ホッケーを専門科目として選択し、個人技能を高め、チームを意識したプレーができる。(他競技・趣味等との併用可)	考えるホッケー 高い技術を獲得 判断力の養成	考えるホッケー チーム・グループ戦術の理解	自立したホッケー チームと個人のバランスが取れるようになり、競技者として高い意識を持つ	世界を目指すホッケー 高い基本技術を獲得 高いレベルの相手と切磋琢磨する	世界と闘うホッケー 自己のホッケーを確立する	世界をリードするホッケー 海外クラブに所属する	世界をリードするホッケー 海外クラブに所属する	トップ競技者の ロールモデルとなる
EX	どんな人が支えているか	家族、学校教師 所属チームスタッフ 地方協会(PF)	家族、学校教師 所属チームスタッフ 地方協会(PF)	家族、学校教師 所属チームスタッフ 地方協会(PF)	JHA代表チームスタッフ JHA育成スタッフ 情報医科学スタッフ 所属チームスタッフ	JHA代表チームスタッフ JHA育成スタッフ 情報医科学スタッフ 所属チームスタッフ	JHA代表チームスタッフ JHA育成スタッフ 情報医科学スタッフ 所属チームスタッフ	JHA代表チームスタッフ JHA育成スタッフ 情報医科学スタッフ 所属チームスタッフ 国際審判員	JHA代表チームスタッフ 所属チームスタッフ 日本リーグ機構 国際審判員	JHA代表チームスタッフ 所属チームスタッフ 日本リーグ機構 国際審判員	JHA代表チームスタッフ 所属チームスタッフ 国際審判員	JHA代表チームスタッフ 所属チームスタッフ 国際審判員
	目安となる年齢	~9	~12	~12	選考: ~14 検証: ~15	~16	~18	~21	21~			
	強化指定			U12強化指定選手	エリートアカデミー U15候補選手	U16(U15)代表 強化指定選手	U18(U17)代表 強化指定選手	U21(U19)代表 強化指定選手	シニア オリンピック強化指定		シニア オリンピック強化指定	
選考基準		APSIに候補選手登録 PF推薦	U12選考基準に 準ずる	エリートアカデミー(J-SATAR) 選考基準に準ずる	U16選考基準に 準ずる	U18選考基準に 準ずる	U21選考基準に 準ずる	シニア 選考基準に 準ずる		シニア 選考基準に 準ずる		